

医局だより



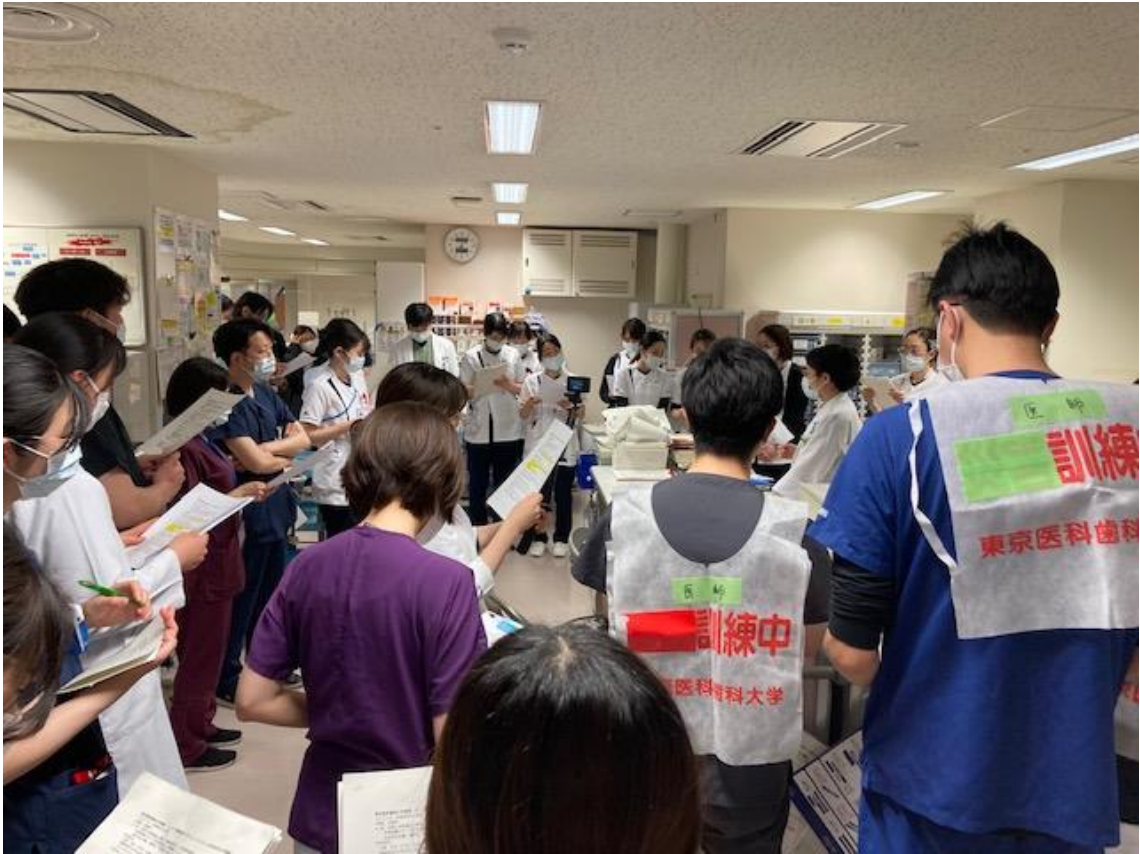
死戦期帝王切開

こんにちは！

なにやら物騒な題名ではじまりました。今回は世にも恐ろしい状況を想定したシミュレーションの話題を取り上げようと思います。

死戦期帝王切開とは、妊婦が心停止を起こした際に、お母さんと赤ちゃんを出来る限り救うための手段です。妊娠中の子宮は下大静脈を圧迫するため、帝王切開でこれを解除することで血液還流が改善し、さらに大きな子宮をなくすことで心臓マッサージもしやすくなり、お母さんの蘇生を助けることとなります。また、赤ちゃんにとってもなるべく早く分娩にすることで救命の確率を上げることにもなります。

産婦人科医はこんな状況は想像もしたくないですが、中には非常に稀な症例にぶち当たることもやはり可能性をしてあるわけです。医科歯科で、もし万が一こんなことが起こったときに、どのように対応するのか、というシミュレーションを行いました。今回は、産婦人科、助産師、NICU、救命救急、心臓血管外科、麻酔科…と各方面からスタッフが集まり、みんなで確認を行いました。初めての死戦期帝王切開のシミュレーションということで、あーでもない・こーでもないという意見を出し合い、状況に応じた対応を検討し、後半で実際にシミュレーションを行って流れを確認しました。写真をご覧くださいながら、様子をご紹介します。一枚目は大集合し、死戦期帝王切開の意義、シミュレーション症例の流れの説明を聞いております！みんな真剣です！





2、3、4枚目はシミュレーションの様子です。産婦人科病棟で妊婦が心停止の状況になり、救命救急に連絡をします。救命救急のスタッフは地下1階から8階まで、階段を駆け上がってかけつけてくれます！NICUや麻酔科などにも連絡し、死戦期帝王切開の準備も同時に進めていきます。心臓マッサージを交替しながら、産婦人科医はいち早く帝王切開を進めていきます。状況によってこれらの流れが変わることが考えられますが、基本の流れをみんなで確認をし、イメージをみんなで共有しました！

個人的には、心停止の診断を勇気をもって行い、救命救急への連絡をいち早く行い、あとは帝王切開を出来る限り早急に！というところに重要性を感じました。そして、救命救急のスタッフの階段での駆けつけ方に尊敬の念と頼もしさを感じました！

頭で考えるだけでなく、身体を動かして流れをみると、すごくイメージしやすくなります。シミュレーションの重要性を今回も改めて感じる機会となりました！

さて、今月はもう一つ、死戦期帝王切開の緊張感とは全く違う話題を提供しようと思います。

私たちの医局に、本日、急に大きくキレイな胡蝶蘭が現れました！！しかもなんと3つも現れました！！産婦人科では特別なお祝い要素はなく、とある部署から頂いた胡蝶蘭でございます。こんなに大きな胡蝶蘭、しかも6本立ち、しかも3つも。すごいねー！高そうだねー！いくらするのかなー？どれが一番かなー？と医局で盛り上がりました。

胡蝶蘭は、蝶という文字を含んでいて、また見た目の高貴な雰囲気から「幸福が飛んでくる」という花言葉を持つらしいです。そして、特に白い胡蝶蘭は「純粹」という意味もあるみたいです。私たち、医科歯科産婦人科はみんな、割と純粹な心を持ち合わせていると勝手に思っており、ピッタリ！って思いました。あとは幸福が舞い込んでくるらしいので、ワクワクです！正直、貰い物ですが、何か良いことが起こるに違いありません！



また、月 1 回のペースで医局の近況を報告するので、是非 HP に遊びにきてください！

学生さんや研修医の先生の見学も随時募集しております！病院を見学しながら私たちの医局の雰囲気を感じ、若手の先生から医科歯科の内情も聞けるので、ぜひいらしてください！お気軽に連絡ください。

2023 年 2 月 20 日

文責：廣瀬 明日香